

《降誕前第9主日・神学校日を覚えて》

前奏	
招詞	詩編 24 編 9～10 節から
頌栄	24 (たたえよ、主の民)
主の祈り	* 下記をご覧ください。
讚美	208※1, 2のみ (主なる神よ、夜は去りぬ) **
交読	『交読詩編』 148 : 1～6 (165 頁、上段「ハレルヤ…」～)
信仰告白	使徒信条 (下記をご参照ください)
聖書	新約 ルカによる福音書 5 : 1～11 (新約 109 頁)
祈り	
讚美	57※1, 2のみ (ガリラヤの風かおる丘で) **
説教	『沖に漕ぎ出せ』 玉木光一神学生(東京神学大学大学院在学)
祈り	
讚美	521※1, 2のみ (とらえたまえ、われらを) **
献金	
頌栄	29 (天のみ民も)
派遣・祝祷	
報告	
後奏	** 讚美歌は短めとなります。

※本庄教会の礼拝では  
聖書は『新共同訳』を  
賛美歌は『讚美歌 21』を  
使用しています。

主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。  
み国を来たらせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄とは  
限りなくなんじのものなればなり。  
アーメン。

使徒信条

我は天地の造り主<sup>ぬし</sup>、全能の父なる神を信ず。  
我はその独<sup>ひと</sup>り子<sup>ご</sup>、我らの主、イエス・キリス  
トを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリ  
ヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみ  
を受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府<sup>よみ</sup>  
にくんだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、  
天に昇<sup>のぼ</sup>り、全能の父なる神の右に坐<sup>ざ</sup>したまへ  
り、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを  
審<sup>さば</sup>きたまはん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交  
はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえ  
のいのちを信ず。

アーメン。